2024年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年２月13日

上 場 会 社 名　株式会社アイスコ　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7698　URL　https://www.iceco.co.jp/
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）相原　貴久
問合せ先責任者　（役職名）取締役CFO　（氏名）永野　泰敬　（TEL）045(811)1302
四半期報告書提出予定日　2024年２月13日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2024年３月期第３四半期の業績（2023年４月１日～2023年12月31日）

（１）経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年３月期第３四半期	38,912	12.6	524	232.9	567	186.8	366	133.9
2023年３月期第３四半期	34,571	5.9	157	△68.0	197	△62.7	156	△58.2

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2024年３月期第３四半期	189 55	185 82
2023年３月期第３四半期	81 35	80 14

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年３月期第３四半期	17,233	3,476	20.2
2023年３月期	15,124	3,166	20.9

（参考）　自己資本　2024年３月期第３四半期　3,475 百万円　　2023年３月期　3,164 百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2023年３月期	－	19 00	－	18 00	37 00
2024年３月期	－	19 00	－		
2024年３月期(予想)			－	19 00	38 00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2024年３月期の業績予想（2023年４月１日～2024年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　期	49,500	10.3	380	224.2	440	145.8	280	93.9	144 18

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年３月期３Ｑ	1,942,750株	2023年３月期	1,924,800株
②　期末自己株式数	2024年３月期３Ｑ	― 株	2023年３月期	― 株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2024年３月期３Ｑ	1,934,366株	2023年３月期３Ｑ	1,915,502株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の将来に関する記述は、業績に与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が５類に移行し落ち着きを見せるものの、世界的な原材料価格の高騰や円安による物価上昇など、先行きの見通せない不透明な状態が続いております。

当社が身を置く食品流通業及びスーパーマーケット業につきましては、原材料価格の高騰や、人件費、燃料費等のコスト上昇による価格転嫁の動きから、節約志向がより一層進む厳しい経営環境となっております。

このような情勢のなか、当社は食を通じた社会貢献を目標に、取引先との関係強化を図るとともに、効率的な物流網の構築や、地域密着型の店舗運営を推進、食料品の安定供給に努めてまいりました。

当第３四半期累計期間は燃料費等のコスト上昇分に対する価格転嫁が進んだことや、記録的な猛暑が続いたこと、ドラッグストアやディスカウントストアといった主要得意先との取引が堅調に推移したことにより、売上高38,912百万円（前年同四半期比12.6％増）、営業利益524百万円（前年同四半期比232.9％増）、経常利益567百万円（前年同四半期比186.8％増）、四半期純利益366百万円（前年同四半期比133.9％増）となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

ａ．フローズン事業

フローズン事業につきましては、燃料費、電気代等のコスト上昇分に対する価格転嫁が進んだことや、記録的な猛暑が続いたこと、主要得意先であるドラッグストアの新規出店等により堅調に推移いたしました。また、2023年６月に商品在庫を保有しない通過型センターを茨城県に開設し、北関東エリアの物流効率の改善に努めております。また、新規事業の冷凍食品専門店「FROZEN JOE’S」は、2023年９月に横浜市に１店舗新規出店しております。

以上の結果、フローズン事業の売上高は34,054百万円（前年同四半期比19.1％増）、セグメント利益は591百万円（前年同四半期比220.5％増）となりました。

ｂ．スーパーマーケット事業

スーパーマーケット事業につきましては、前事業年度に３店舗閉店した結果、セグメント売上は前年同期比で減少しております。また、2023年９月に横浜市にスーパー生鮮館TAIGA藤が丘店を出店したことにより、開店費用が増加し、一時的に販売費及び一般管理費が増加しております。引き続きセグメント利益の黒字化に向け、管理コストの削減や、販売促進費の見直し等、抜本的な改革に取り組んでおります。

以上の結果、スーパーマーケット事業の売上高は4,858百万円（前年同四半期比18.6％減）、セグメント損失は67百万円（前年同四半期はセグメント損失27百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて、2,109百万円増加し、17,233百万円となりました。これは主に、フローズン事業の売上の増加に伴い受取手形及び売掛金が1,031百万円、商品が459百万円、現金及び預金が455百万円増加したこと等によるものです。

（負債）

当第３四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて、1,799百万円増加し、13,757百万円となりました。これは主に、フローズン事業の仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が1,472百万円、未払法人税等が122百万円増加したこと等によるものです。

（純資産）

当第３四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて、310百万円増加し、3,476百万円となりました。これは主に、利益剰余金が295百万円増加したこと等によるものです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月13日公表の業績予想に変更はありません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年３月31日)	当第３四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,000,147	2,455,708
受取手形及び売掛金	4,162,883	5,194,396
商品	615,588	1,074,930
未収入金	2,160,316	2,130,509
その他	21,586	16,802
貸倒引当金	△733	△886
流動資産合計	8,959,788	10,871,461
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,942,082	2,077,559
機械及び装置（純額）	123,905	115,024
車両運搬具（純額）	139,837	87,786
工具、器具及び備品（純額）	126,134	204,080
土地	2,522,221	2,522,221
その他（純額）	52,291	64,074
有形固定資産合計	4,906,472	5,070,746
無形固定資産		
ソフトウエア	8,789	21,153
その他	7,158	7,124
無形固定資産合計	15,947	28,278
投資その他の資産		
投資有価証券	39,129	33,046
繰延税金資産	476,599	478,427
保険積立金	65,950	72,096
差入保証金	642,764	667,013
その他	18,009	13,265
貸倒引当金	△408	△408
投資その他の資産合計	1,242,046	1,263,440
固定資産合計	6,164,466	6,362,466
資産合計	15,124,255	17,233,927

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年３月31日)	当第３四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,999,569	8,472,232
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	398,209	386,783
未払金	325,525	418,379
未払費用	502,870	584,602
未払法人税等	50,850	173,664
未払消費税等	32,652	34,823
賞与引当金	138,335	36,006
その他	46,181	108,472
流動負債合計	9,194,195	10,914,964
固定負債		
長期借入金	1,821,034	1,833,615
長期未払金	155,100	155,100
退職給付引当金	670,969	694,018
資産除去債務	76,465	120,416
その他	40,406	39,132
固定負債合計	2,763,976	2,842,283
負債合計	11,958,171	13,757,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,832	370,779
資本剰余金	285,832	295,779
利益剰余金	2,504,020	2,799,144
株主資本合計	3,150,684	3,465,702
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,025	9,770
評価・換算差額等合計	14,025	9,770
新株予約権	1,373	1,207
純資産合計	3,166,083	3,476,679
負債純資産合計	15,124,255	17,233,927

（２）四半期損益計算書

第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自 2022年４月１日 至 2022年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自 2023年４月１日 至 2023年12月31日）
売上高	34,571,782	38,912,767
売上原価	28,628,651	32,278,335
売上総利益	5,943,130	6,634,432
販売費及び一般管理費	5,785,686	6,110,299
営業利益	157,444	524,133
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,325	5,234
不動産賃貸料	37,682	38,717
雑収入	22,025	19,436
その他	2,067	1,523
営業外収益合計	67,100	64,912
営業外費用		
支払利息	12,219	10,730
不動産賃貸費用	11,146	10,603
その他	3,312	276
営業外費用合計	26,678	21,610
経常利益	197,866	567,434
特別利益		
保険解約返戻金	44,517	－
その他	300	－
特別利益合計	44,817	－
税引前四半期純利益	242,683	567,434
法人税等	85,897	200,767
四半期純利益	156,786	366,667

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項ありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第３四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ．前第３四半期累計期間(自　2022年４月１日　至　2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）３
	フローズン事業	スーパーマーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,600,775	5,971,006	34,571,782	－	34,571,782
セグメント間の内部売上高又は振替高	167,903	－	167,903	△167,903	－
計	28,768,679	5,971,006	34,739,686	△167,903	34,571,782
セグメント利益又は損失（△）（注）２	184,533	△27,089	157,444	－	157,444

（注）１．セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△167,903千円は、セグメント間取引消去等であります。

２．セグメント利益又は損失（△）には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ．当第３四半期累計期間(自　2023年４月１日　至　2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）３
	フローズン事業	スーパーマーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,054,615	4,858,152	38,912,767	－	38,912,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	187,900	－	187,990	△187,990	－
計	34,242,605	4,858,152	39,100,758	△187,990	38,912,767
セグメント利益又は損失（△）（注）２	591,496	△67,363	524,133	－	524,133

（注）１．セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△187,990千円は、セグメント間取引消去等であります。

２．セグメント利益又は損失（△）には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。